



2022年2月24日

各 位

東京都港区芝浦三丁目1番1号
安田倉庫株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤井 信行
(コード番号：9324 東証第1部)
問合わせ先 執行役員業務部長 青木 健太
(TEL. 03 - 3452 - 7311)

劣後特約付ローン（ハイブリッドローン）による資金調達に関するお知らせ

当社は、2022年2月24日、劣後特約付ローン（以下「本ハイブリッドローン」という。）による総額150億円の資金調達についての契約を締結しましたので、下記の通りお知らせいたします。

尚、資金調達額のうち60億円については社会的課題の解決を目的とした「ソーシャルローン」として資金調達を行います。これはハイブリッドローンでは国内初の事例となります。

記

1. 本資金調達の目的・意義

当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」を実現するために2022年～2024年度の3か年計画として新たに作成した中期経営計画「変わらず、変える。YASDA Next Challenge 2024」（以下「新中期経営計画」という。）において、「最先端テクノロジーと人間力を融合した、「YASDA Value」で多様化する社会とお客様ニーズに応える。」を掲げ、物流事業については付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワーク拡充を進めてまいります。また、経営インフラの高度化の一環として規律ある財務運営と成長投資の両立を図ってまいります。

このような状況の下、持続可能な企業成長のための資金確保と財務的な健全性の両立を目的として本ハイブリッドローンによる資金調達を実施することといたしました。

2. 本ハイブリッドローンの特徴

本ハイブリッドローンは、資本と負債の中間的な性質を持ち、負債でありながら、利息の繰延、超長期の返済期限、倒産手続き等における劣後性など、資本に類似した性質及び特徴を有しており、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」という。）から資金調達額の75%が資本に相当する資本性「高・75%」の認定を受けております。

3. ソーシャルローンについて

ソーシャルローンとは、「ソーシャルローン原則」（※1）に準拠し、社会的課題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローンのことです。

今般、ソーシャルローンとして調達する60億円については、当社東雲営業所（東京メディカルロジスティクスセンターI）（以下「東雲営業所」という。）の関連費用として過去に拠出した費用に対する既存有利子負債の返済資金として使用し、JCRによる「JCR ソーシャルローン評価」（※2）の最上位評価である「Social 1」（※3）の評価を取得いたしました。

当社グループは、「サステナビリティ経営基盤の確立」を新中期経営計画の基本目標に掲げ、持続可能な社会の実現と当社グループの継続的な発展のため「高品質で安全なサービスの提供による最適な社会環境の創造」を優先的に解決すべき重要課題（マテリアリティ）と特定しました。「メディカル物流を通じた医療課題の解決」は当該重要課題の達成に向けた取り組みの一つとなります。

東雲営業所は、都心や羽田空港へのアクセスに優れた東京湾岸エリアに位置し、幅広い分野の医療機器の取り扱いと共に、医療機器適切保管のための温度帯設備、非常用発電装置、高度なセキュリティシステム等、医療サービスの供給を止めないための体制を備えており、災害やパンデミック等の緊急時にも物流業務を継続できる仕組みを構築しております。また、従来からの倉庫・物流機能に加えて、医療機器の点検の代行、迅速な修理対応、洗浄サービス等を可能とする「医療機器総合ワンストップサービス」を提供し、多忙な医療従事者の業務負荷の軽減、経営の効率化に寄与しております。今後も医療機器の安定供給を通じて、医療課題の解決に取り組んでまいります。

(※1) ソーシャルローン原則：

英 Loan Market Association (LMA)、香港に本部を置くアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association (APLMA)、米 Loan Syndications and Trading Association (LSTA) が、2021 年 4 月発行した社会プロジェクトに用途を限定する融資の国際ガイドライン

(※2) JCR ソーシャルローン評価：

ポジティブな社会的成果を生み出す新規又は既存のプロジェクトに必要な資金を調達するための債券・ローン

(※3) Social 1：

ソーシャル性評価、管理・運営・透明性評価ともに最高評価を得たソーシャルファイナンスに付与されるもの

4. 本ハイブリッドローンの概要

(1) 資金調達額	総額：150 億円 トランシェ A：10 億円（ソーシャルローン） トランシェ B：50 億円（ソーシャルローン） トランシェ C：90 億円
(2) 資金用途	一般事業資金および既存有利子負債の返済資金 このうち、トランシェ A およびトランシェ B より調達した資金については、東雲営業所の関連費用として過去に拠出した費用に対する既存有利子負債の返済資金として使用する
(3) 契約締結日	2022 年 2 月 24 日
(4) 実行日	2022 年 2 月 28 日
(5) 弁済期日	2057 年 2 月 28 日 ただし、2027 年 2 月 28 日以降の各利払日において、元本の全部又は一部の期限前弁済が可能となる

(6) 劣後特約	本ハイブリッドローンの債権者は、清算手続、破産手続、会社更生手続および民事再生手続、またはこれらに準ずる外国における手続において、劣後請求権を有するものとする
(7) 借換制限	上記の期限前弁済をする場合には、本ハイブリッドローンと同等以上の資本性を有するものと JCR から承認を得た手段により資金を調達することを意図している。但し、財務指標が一定の水準を満たした場合、上記調達を見送ることあり
(8) 利息支払いに関する条項	<p>① 利息の強制停止 本ハイブリッドローンの利息支払いは、以下に定める事由の発生により全部または一部が強制的に繰り延べられる</p> <p>i) 当社の決算期に係る連結財務諸表において、直近 2 事業年度連続で、調整後当期純利益 (※4) がゼロ未満である場合 (※4) 連結財務諸表に表示される当期純利益から減損損失を控除した額</p> <p>ii) 当社の決算期または四半期に係る連結財務諸表において、net D/E レシオが 3.0 倍を超えた場合</p> <p>iii) 会社法に定められる分配可能額が本ハイブリッドローンに係る利息を下回る場合</p> <p>② 利息の任意停止 当社は、その裁量により本ハイブリッドローンに係る利息支払いの全部または一部を繰り延べることができる</p>
(9) アレンジャー兼エージェント	株式会社みずほ銀行
(10) 貸付人	株式会社みずほ銀行、農林中央金庫、株式会社日本政策投資銀行、明治安田生命保険相互会社他、計 5 社
(11) 格付機関による資本性評価	資本性「高・75%」を取得 (JCR)

－ 参考情報 －

東雲営業所（東京メディカルロジスティクスセンターⅠ）概要

【特徴】

本物件は、りんかい線東雲駅より徒歩5分、首都高速湾岸線有明IC至近に位置し東京湾岸地区や羽田空港へのアクセスにも優れ、メディカル物流に最適な立地となっております。

当社は本物件を一括利用し、2020年6月に東雲営業所を開設しています。本物件至近に位置する東雲営業所辰巳倉庫（東京メディカルロジスティクスセンターⅡ）との一体的な運営により東京臨海部の希少な高付加価値物流施設として医療機器等のメディカル貨物を中心にオペレーションを行っております。



【施設の概要】

(1) 所在地（住居表示）	東京都江東区東雲二丁目13番35号
(2) 敷地面積	10,863.95㎡（3,286.34坪）
(3) 延床面積	22,088.79㎡（6,681.86坪）
(4) 構造・規模	CFT造・耐震・ビル型・4階建
(5) トラックバース	20台
(6) 乗用駐車場	3台
(7) トラック待機場	大型車6台 4tトラック23台
(8) 設計施工	五洋建設株式会社
(9) 竣工	2020年5月29日

以上